

ブラジルの金融市場動向 Weekly Report

2018年7月23日

【2018年7月14日～2018年7月20日までの推移】

【1】先週の回顧

先週のブラジル・レアルは、対円、対米ドルともに上昇しました。また、2年国債金利は低下しました。米国と中国の間での貿易摩擦をめぐる懸念が後退したことなどがブラジル・レアル上昇の追い風になりました。

経済指標については、5月の経済活動指数が発表されました。ストライキなどの影響を受けて指数は市場予想以上に悪化し、前月比では2003年以降で最大の下落となっています。

IMF(国際通貨基金)からは、最新の経済見通しが発表されています。ブラジルの2018年GDP(国内総生産)成長率見通しを1.8%とし、前回発表された数値からは下方修正されました。IMFは、ブラジルの経済成長率を下方修正した要因としてストライキの影響や政治の不透明感をあげています。

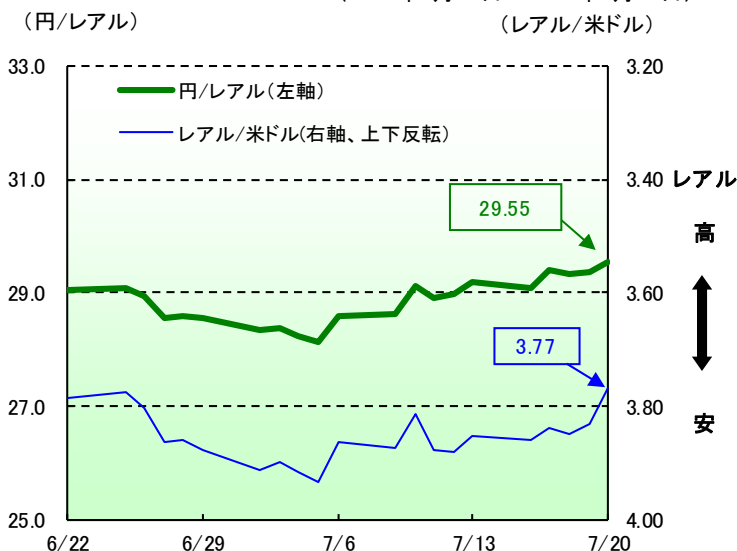
【2】今週の見通し

今週は、各種インフレ率のほか、中央政府の財政収支や経常収支などが発表される予定です。

大統領選挙に関しても、選挙キャンペーン開始が近づいており注目度がますます高まっています。中道派グループが政治同盟を結ぶと報じられるなど、8月半ばの候補者の登録期限に向けて各政党や候補者の協力に向けた動きが活発になっており、こうした動向には注意が必要です。なお、前述の中道派グループの同盟は今週正式に発表されると見込まれています。

【ブラジル・レアル 為替推移】

(2018年6月22日～2018年7月20日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

【ブラジル 金利推移】

(2018年6月22日～2018年7月20日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。
- 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。
- 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。
- 当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>